

2018

1/6(土) ▶ 3/4(日)

企画展

こだいの「ふふっ」展

登呂博物館 2階 特別・企画展示室

開館時間 9:00 - 16:30

休館日 月曜日、祝日の翌日 *1/8、2/12は開館

観覧料 一般 300円 高大生 200円 小中学生 50円



あつまれ、こだいの「ふふっ」



考古学は、

きつと楽しい

はるが昔の人々は、さまざまな意味をこめてモノづくりをしました。その中には、思わず「ふふっ」と声を出して頬が緩むモノがあります。

現代の私たちを笑顔にさせてくれるモノたち。それらは当時の人々にとっても特別なモノで、大切な意味があったのではないのでしょうか。

「顔」を模したモノや、身近に息づいていた「動物」たち、さらには「おしゃべり」、「音楽」、ちよつと不思議な「ミニ



ミミズク土偶 (市原市教育委員会蔵)

その「顔」に
動物に
おしゃべりして
Enjoy music!?

ふ
ふ
っ

小さくって

ほかにも?



琴を弾く埴輪 (埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵)

チュア」など、見るだけでもおもしろいモノが大集合。

考古学は難しいイメージがあるかもしれませんが、この『こだいの「ふふっ」展』で、気楽に考古学の楽しみに触れてみませんか？

関連イベント

1. 講演会

「弥生時代の美と心」

日時 1月21日(日) 14:00 - 16:00

会場 登呂博物館 1階 登呂交流ホール

講師 国立歴史民俗博物館 教授 松木武彦

料金 100円

定員 60名(要予約)

※1/6より登呂博物館(054-285-0476)にて受付開始

弥生時代の人々が感じていた「美」とその世界観に迫ります!

“モノから読む人の心の動き”
「進化考古学」研究の第一人者!



人面付土器 (市原市教育委員会蔵)



片山鹿寺跡の鬼瓦 (静岡市教育委員会蔵)

2. 「ふふっ」をつくろう

日時 1月27日(土) 10:00 - 11:00 / 11:00 - 12:00

会場 登呂博物館 1階 登呂交流ホール

料金 100円

定員 各回20名(小学2年生以下は保護者同伴のごと)

※当日、直接会場へ



土偶 (市原市教育委員会蔵)

作るモノはあなた次第!?
小さな土偶や動物も!?

アクセス



《バス》JR静岡駅南口から約10分
しずてつジャストライン「登呂遺跡」行きバス終点下車
《車》東名静岡ICから約10分 遺跡南側に有料駐車場有

3. 展示解説

日時 1月6日(土)、28日(日)、2月17日(土)、
3月4日(日) 各日2回 11:00 ~、14:00 ~

会場 登呂博物館 2階 特別・企画展示室

料金 無料(要観覧料)



棒を持つ女性埴輪 (埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵)

表紙写真

- 1: 笑う埴輪 (埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵)
- 2: 盾持人物埴輪 (本庄市教育委員会蔵)
- 3: 鹿形埴輪 (市原市教育委員会蔵)